

男女共同参画局メールマガジン第 480 号 (R2.10.23 発行)

《内閣府 男女共同参画局から》

- 10/28 男女共同参画会議女性に対する暴力に関する専門調査会(第 110 回)を開催いたします。
- 「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の第 2 回開催報告

《お知らせ》

- 国立女性教育会館「アーカイブ保存修復研修(基礎コース)」開催【文部科学省】
- 令和 2 年度「大学等における男女共同参画推進セミナー」(オンライン開催)実施報告【文部科学省】
- 「いまスタ! 社会人の学び応援プロジェクト」【文部科学省】
- 介護休業を利用できる方とは(制度の紹介)【厚生労働省】
- 立ち直り応援基金に御協力ください。【法務省】

《再掲》

- DV、性犯罪・性暴力でお悩みの方の相談窓口一覧

《内閣府 男女共同参画局から》

- 10/28 男女共同参画会議女性に対する暴力に関する専門調査会(第 110 回)を開催いたします。

男女共同参画会議女性に対する暴力に関する専門調査会(第110回)を下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

日時：令和2年10月28日(水) 14:00～17:00

場所：中央合同庁舎第8号館8階特別中会議室

議題：DV対策の今後の在り方について

議事要旨、配布資料等は、追って男女共同参画局ホームページに掲載いたします。

●「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の第2回開催報告

「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の第2回を10月21日(水)に開催しました。

配布資料は、男女共同参画局のホームページに掲載しました。議事録は追って掲載します。ご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/kaigi/kento/covid-19/index.html>

《お知らせ》

●国立女性教育会館「アーカイブ保存修復研修(基礎コース)」開催【文部科学省】

国立女性教育会館(NWEC)では、女性の歴史を今に生かし未来につないでいくために、女性に関わる原資料(女性アーカイブ)の保存と活用に取り組んでおり、その一環として研修を実施しています。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施します。女性関連施設職員・図書館・文書館の実務担当者、地域女性史編纂関係者の方のご参加をお待ちしております。

■Zoomによるライブ配信

令和2年11月18日(水)～19日(木)

40名程度

■YouTubeによるオンデマンド配信期間

令和2年11月24日(火)～12月7日(月)

詳細は、こちらを御覧ください。

→<https://www.nwec.jp/event/training/archivist2020.html>

□お問合せ先

独立行政法人国立女性教育会館情報課 TEL:0493-62-6195

●令和2年度「大学等における男女共同参画推進セミナー」(オンライン開催)実施報告【文部科学省】

国立女性教育会館(NWEC)は、大学・短期大学・高等専門学校等の高等教育機関の役職員・教員を対象にオンラインによるセミナーを令和2年9月24日(木)～10月4日(日)の11日間実施し、全国から229名が参加・視聴した。

この研修は、男女共同参画を組織の経営戦略と位置づけ、全体テーマを「組織変革・イノベーション創出のためのダイバーシティ推進 ―組織の同質性を考える―」とした。基調講演では、学生・教職員等、大学の構成員の性別における大きな偏りはどのような課題を生むのか、その課題解決に向けた対応について考え、続く事例報告では3つの高等教育機関の男女共同参画推進の具体的な取組事例を紹介した。パネルディスカッションでは、高等教育機関が抱える課題の整理や、SDGsの達成・国際貢献などの役割が求められている中で柔軟に変化していくための組織作りについて、女性活躍・男女共同参画の視点から意見交換を行った。

参加者からは、「ハラスメントやダイバーシティに関して多様な見方と考え方の融合を学ぶことができた」「いろいろな立場からの報告があり、多様性に富んだプログラムで、大学のダイバーシティ推進の問題点、課題について大変勉強になった」などの意見が寄せられた。

詳細は、こちらを御覧ください。

→https://www.nwec.jp/event/training/g_daigaku2020.html

□お問合せ先

国立女性教育会館事業課

TEL:0493-62-6724

●「いまスタ！社会人の学び応援プロジェクト」【文部科学省】

文部科学省では、社会全体でのリカレント教育の機運を高め、普及啓発し、学び直しをしようと考えている人が一歩を踏み出す一助とするため、社会人の学びを応援する動画をシリーズ化しています！

先日公開した動画では2020年9月に「アジアで影響力のあるビジネスウーマン」にも選出された(株)サンリオエンターテイメント社長の小巻亜矢氏から学び直しの意義や、働きながらの大学院生活、女性の自立・キャリア形成において学び直しがもたらすことについてメッセージを頂きました。

他にも有識者のメッセージ、大学・専門学校等の事例紹介をしておりますので是非ご覧ください。

(動画 URL) <https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbC-Sa4cmjJO5yAkUmJFRO2j>

また、学びに関して少しでも関心のある方は、社会人の大学等の学びを応援するサイト「マナパス」も併せてご覧ください。

(マナパス URL)

<https://manapass.jp/>

お問合せ先

文部科学省生涯学習推進課課職業教育推進係

TEL:03-6734 - 3466

●介護休業を利用できる方とは（制度の紹介）【厚生労働省】

厚生労働省では、従業員が仕事と介護を両立できる環境を整備し、優秀な人材確保・定着を図るなどのため、HP上で介護休業制度の紹介をしています。

常時介護が必要な家族を介護している労働者は、介護休業、介護休暇などの制度が利用できます。

「常時介護が必要な状態」の判断にあたっては、下記の判断基準を参照してください。

なお、介護保険の要介護認定の結果通知書や医師の診断書の提出を制度利用の条件とすることはできません。

【育児・介護休業法に関するパンフレット】

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000103504.html>

【介護休業制度の詳細はこちら】

<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/000355361.pdf>

【介護休業制度等に関する特設サイトを開設しました】

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/kaigo/

従業員が仕事と介護を両立できる環境を整備し、優秀な人材確保・定着へ
(介護休業制度の詳細は都道府県労働局雇用環境・均等部(室)まで)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000177581.pdf>

●立ち直り応援基金に御協力ください。【法務省】

犯罪や非行からの立ち直りを支援する「立ち直り応援基金」が創設されました。更生保護法人日本更生保護協会が運営し、法務省保護局が広報を担っています。

犯罪や非行をした人は、刑事手続を経て、自らの罪を償い、いずれ社会に復帰します。全国には、その更生保護に携わる多くの民間協力者がおり、立ち直ろうとする人の社会復帰を様々な側面から支えています。例えば、更生保護女性会は、地域の犯罪予防活動と犯罪や非行をした人の更生支援活動を行うボランティア団体で、刑務所出所者等を受け入れている更生保護施設におけるサポート活動や、子育て支援活動など、全国で草の根の活動を展開しています。

一方、これら更生保護に携わる民間協力者の財政基盤は脆弱であることが少なくありません。現在尽力いただいている活動の多くは、関係者の熱意によって成り立っているのが現状であり、これらの活動を支える仕組みづくりが求められてきました。

「立ち直り応援基金」は、犯罪や非行からの立ち直りに賛同してくださる個人、企業、団体等から、インターネット等を通じて一口1,000円から広く寄附を募り、集めた寄附金を、更生保護女性会の活動を含めた、立ち直りを支える各地の草の根の活動に助成していきます。この基金の仕組みを通じて、新たな被害者も加害者も生まない、安全・安心な地域社会を我が国全体で支え合う基盤づくりを目指しています。立ち直り応援基金の概要については、独立行政法人福祉医療機構が運営する「WAMNET」に掲載されていますので、御覧く

ださい。

ぜひ、皆様の御協力をお願いいたします。

【立ち直り応援基金については、こちら】

<https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/kouseihogo/kouseihogo004.html>

《再掲》

●DV、性犯罪・性暴力でお悩みの方の相談窓口一覧

DVや性暴力は、深刻な社会問題です。

DVや性暴力の被害でお悩みの方、ひとりで悩まず、ご相談ください。

【DV相談ナビ】

短縮ダイヤル「#8008」（はれれば）

【DV相談プラス】

電話での相談（24時間対応）：0120-279-889（つなぐ・はやく）

メールでの相談：<https://form.soudanplus.jp/mail>

SNSでの相談（英語や中国語など10言語の外国語にも対応）：
<https://form.soudanplus.jp/ja>

【性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター】

全国共通の短縮電話番号「#8891」（早くワンストップ）

【性暴力に関するSNS相談「Cure Time（キュアタイム）」】

ホームページ（<https://curetime.jp/>）から相談できます。

相談受付 令和2年10月2日（金）～令和3年1月30日（日）（12/29～1/3を除く）

毎週 月・水・金・土 16:00～21:00

英語や中国語など10言語の外国語にも対応

=====

◆男女共同参画局 Facebook について

男女共同参画局フェイスブックでは、最新の施策、関連情報を随時アップしております。是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

◆内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。

男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

◆男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、令和2年11月13日（金）に配信する予定です。

=====

※このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>